

順天堂大学 教員のサバティカル研修制度利用実績

2023年10月1日

本学は、教員の教育研究の遂行に必要な資質の向上を図ることを目的として、「順天堂大学教員のサバティカル研修に関する規程」に基づき、教員を一定の期間にわたり海外の機関に派遣しています。

所属	職位	氏名	期間	研修先機関（所在国・地域）	目的 以下を研究テーマとして、研究活動に従事した。
医学部	助教	石山 隼	2021年4月1日～2022年6月19日	Johns Hopkins University (米国)	1. 骨肉腫ラットモデルの樹立、骨肉腫ラットモデルに対するX線を用いた in vivo monitoringの有用性、Doxorubicinの抗腫瘍効果 2. 癌マウスモデルに対する超音波検査による in vivo monitoringの有用性
医学部	助教	谷津 翔一郎	2021年7月1日～2023年6月30日	University of Tronto (カナダ)	心不全患者の睡眠呼吸障害に対する適応補助換気療法の心血管機能に与える影響
医学部	准教授	大森 一彦	2021年7月22日～2023年7月1日	Queen Mary University of London (英国)	外傷誘発性凝固障害の病態解明と新規輸血蘇生の開発
スポーツ健康 科学部	教授	大野 早苗	2022年10月1日～2023年3月31日	Ca' Foscari University of Venice (イタリア)	文学作品を用いた教養教育・市民性教育としての日本語作文指導法の研究
医学部	助教	柳沼 憲志	2023年4月1日～2023年9月30日	Klinikum Darmstadt (ドイツ)	冠動脈慢性冠動脈閉塞に対する経皮的冠動脈形成術の技術習得